

第3回 砺波医療圏薬業連携推進研修会のご案内

この度、保険薬局薬剤師と病院薬剤師が円滑な薬業連携を推進するため、Zoomを利用した研修会を開催いたします。今回は、地域薬学ケア専門薬剤師取得の条件にもなっている学会発表と論文執筆に取り組むときの注意点について情報交換を行いたいと思います。今回は、質疑応答の時間も十分とる予定でありますので、多くの先生方にご参加いただき、お互いに楽しく情報交換できるような雰囲気で行いたいと考えております。万障お繰り合わせのうえ、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

日時：2022年1月21日(金) 19:00～20:30 (開場 18:30)

開催方法：Zoomでの開催

18:50～19:00 情報提供 株式会社ファイネス

19:00～20:30 病院と大学の連携について

①学会発表や論文執筆に取り組むときの注意点と取り組みの流れ

公立南砺中央病院薬剤科 鶴居 勝也

地域薬学ケア専門薬剤師の取得には、学会発表2回以上または論文1報以上が認定条件の一つになっています。でも、初めて学会発表する方は本当に自分にできるのか不安だと思います。全国学会では、臨床研究の進め方などの講演が沢山ありますが、講演内容が大規模病院やがん専門病院の話で自分の職場には当てはまらないと思ったのは私だけではないと思います。そこで今回は、学会発表未経験または学会発表回数1-2回の方と初めて論文を書きたい方を対象に、実際に当院で行った研究の研究計画から論文掲載までの流れを説明し、どのような注意点があるのかをみなさんと一緒に考えたいと思います。資料として添付した論文を読んでご参加ください。

②地域医療の薬業連携推進にあたって大学薬学部が果たすべき役割とは？

富山大学学術研究部 薬学・和漢系 臨床薬学教育推進センター
グローバルリレーション部門 教授 田口 雅登

令和3年4月に薬剤師の卒後教育や生涯学習の推進を目的とする新しい部門が富山大学薬学部を設置されました。医薬分業が定着した現在、「患者のための薬局ビジョン」のコンセプトを具現化するべく、地域薬学ケアを如何にして推進していくかが重要な課題となっています。こうした状況を踏まえ、大学発のリカレント教育プログラムを紹介するとともに、砺波医療圏でご活躍中の薬剤師の先生方とともにこれからの大学薬学部が果たすべき役割について意見交換ができればと考えています。

※本研修会は、日本薬剤師研修センターの認定対象研修会に該当し、1単位修得予定です。

※本研修会は、日病薬病院薬学認定薬剤師制度の単位申請中です。北陸3県勤務者のみ申請・配布可能であることをご了承ください。

シールはいずれか1つのみ発行いたします。研修会中に表示されるキーワードを報告いただき、参加ログを確認できた方には、後日研修シールを送付します。キーワードの報告方法等は、研修会冒頭にてお知らせします。

【主催】砺波医療圏病院、全砺波薬剤師会、

研修会担当：公立南砺中央病院薬剤科 FAX:0763-53-2033(薬剤科直通)

mail:yakuzai@mx.city.nanto.toyama.jp

(公社)富山県薬剤師会

☎076-420-5450 mail:info@tomiyaku.or.jp

【共催】公益社団法人富山県薬剤師会、富山県病院薬剤師会、株式会社ファイネス

第3回 砺波医療圏薬業連携推進研修会 参加登録申し込み方法

参加を希望される方は、1月14日(金)までに、QRコードまたは下記URLから参加登録をお願いいたします。

参加登録後、研修会のURL、ID、パスワードが登録されたメールアドレスに自動送信されます。メールが届かない場合は、迷惑メールフォルダや、受信拒否設定、アドレスが間違っていないかご確認ください。

(「@zoom.us」からのメールが受信できるように設定をお願いいたします。)



登録方法が不明の方は、公立南砺中央病院薬剤科または富山県薬剤師会にお問い合わせください。

参加登録用 URL

<https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZckcOuuqD4oE9aj0vLbNm5qqLEv9joqyVbD>

ご登録いただいた方には前日までにご登録いただいたメールアドレス宛に受講方法のご案内をお送りいたします。